

# 医師が教える「美・健康ナビ」



木下 孝昭先生

医療法人社団 孝昭クリニック院長  
医学博士

医師による美と健康に役立つア  
ドバイス「美・健康ナビ」を毎月  
1回、シリーズで連載しています。

第22回

気になる汗と臭いの治療法  
「増える選択肢医師に相談を」

汗が増える季節になり、わき汗の不快な臭いや衣服の染みが気になりますね。制汗剤や消臭せっけんなど、対策に悩む人は多いのではないのでしょうか。実は汗腺にはエクリン腺とアポクリン腺があり、多汗症のように日常生活に支障をきたす大量の汗は、エクリン腺から放出されます。一方、アポクリン腺から出る汗は雑菌や脂肪酸と混ざり、特有の臭いがする「わきが」の原因となります。

わきがが治療の選択肢は増えていきます。保険適応の<sup>せんじよ</sup>剪除法は、わきを切開し、皮膚の内側からアポクリン腺を取り除きます。比較的效果が高いとされますが、術後に長い安静が必要で、感染症や傷痕などの問題もあります。多汗症には、汗腺の働きを止める注射や、汗の量を抑制する飲み薬を用います。エクリン腺は皮膚表面近くにあるため、剪除法は適しません。マイクロ波を利用して皮膚表面から治療する方法は、両方の汗腺に効果があり、切らなくてよいのがメリットです。悩みや症状を医師に相談し、最適な治療法を選択してください。